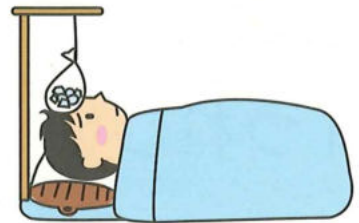


人権学習展開例（第1学年）

主題名 病気になった人への 思いやり

教材名 うれしい おてがみ

人権学習の視点 個別的な視点「患者等の人権問題」



主題・教材について

風邪を引いたりお腹を壊したりして、病気になったときには、心細かったり悲しかったりすることがあると思われる。そんな時に、仲の良い友達からお見舞いの手紙をもらったら、とても嬉しい気持ちになり励まされるであろう。

この教材では、病気になった人の気持ちを思いやるとともに、自分の書いた手紙が病気になった人をとて勇気付けたり、励ましたりすることができることに気付かせたい。また、手紙を書くことを通して、病気になった人にも優しく接し大切にしていこうとする態度を養いたい。

ねらい

病気になった友達の気持ちを思いやり、病気になった人にも優しく接し大切にしていこうとする態度を養う。

本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	○本時の学習課題を知らせる。	一斉	○本時の学習課題を知る。	○題名を読んで、うれしい手紙はどんな手紙であるかを想像させる。	資料 「うれしいおてがみ」
	「うれしいおてがみ」はどんな手紙だろう				
展開	病気になったときの気持ちを話そう				
	○病気になったときの気持ちを発表させる。	一斉	○病気になったときの気持ちを思い出し発表する。	○病気になった悲しさ、怖さ、心細さなど、教師の体験を話す。	ワークシート
	○資料の内容を読み聞かせる。	一斉	○「うれしい おてがみ」を聞く。	○病気になったけんた君が、どんな気持ちだったかを考えながら聞かせる。	
○病気になったけんた君の気持ちを考えさせる。	一斉	○病気になったけんた君の気持ちを発表する。	○けんた君の悲しい気持ち、怖い気持ちをつかませる。		
展開	友達から手紙をもらったけんた君の気持ちを話そう				
	○お見舞いの手紙が、病気になった人を勇気付けたり励ましたりすることができることに気付かせる。	一斉	○友達からお見舞いの手紙をもらったけんた君の気持ちを発表する。	○手紙をもらったけんた君になったつもりで気持ちを考えさせる。	ワークシート
けんた君にお見舞いの手紙を書こう					
まとめ	○けんた君にお見舞いの手紙を書かせ、発表させる。	個別 一斉	○てっちゃんやみきちゃんになった気持ちで、けんた君がもらってうれしいと思う手紙を書く。 ○手紙を発表する。	○けんた君がもらってうれしく元気が出るような絵を描かせてもよい。 ○学級で病気になった友達のためにできることを話し合っても良い。 ○気持ちを込めて、手紙を発表させる。	ワークシート
	○病気になった人の気持ちを考え、優しく接し大切にしていこうとする気持ちをもたせる。	一斉	○教師の話を書く。	○病気になった人に優しく接していくことは、病気になった人を勇気付け、元気にすることを伝える。	

評価

病気になった友達の気持ちを思いやり、病気になった人にも優しく接し大切にしていこうとする態度を養うことができたか。